講　演　申　込　書

(A) 欄はこのままプログラムの原稿になりますので正確にご記入下さい

受付番号	
協会記入	

A)

講演申込大分類番号（○で囲う）	1.高温物理化学・プロセス　2.製銑　3.製銑・製鋼共通　4.製鋼　5.計測・制御・システム技術 6.分析評価・解析技術　7.加工・鋼構造　8.表面技術　9.萌芽・境界領域　10.材料の組織・性質

講演申込中分類番号		特記事項		勤務先（略称で記入）	氏名（講演者○印） 会員番号	勤務先（略称で記入）	氏名（講演者○印） 会員番号
今大会における連報の有無	有・無	題目					
連報の申込分類番号							
講演番号							

注 1）プログラムに掲載する共同研究者は 6 名以内とする　注 2）勤務先略称の記入例……東大工，住金鹿島，新日鉄先端研，NKK京浜，川鉄鉄鋼研，神鋼鉄鋼研，金材技研

B) (B)欄はこのままでデータベースの原稿となり，(特)日本科学技術情報センター(JICST)の JOIS 文献データベースに入力され，研究情報としてオンラインにより内外に流通することになりますので，裏面の抄録の執筆要領に沿って，明確にご記入下さい．(注意 1.) 著者名は正確にフルネームでフリガナをつける．(注意 2.) 著者が 6 名を越える場合には別紙に記載して添付する．

著者勤務先	フリガナ 氏名（講演者○印）	講演者・連絡先所属	
		〒　電話　-　-　内線 FAX　-　-	

受付年月日		受付番号		講演番号	
標題					

（講演要旨（データベース入力原稿））